

訓練カリキュラム

訓練実施機関名: 株式会社キャリアプログラム

訓練実施施設名: 創造社リカレントスクール大阪校

問合せ先住所: 〒 5 5 0 0 - 0 0 0 2

大阪府大阪市西区江戸堀1-25-15

問合せ電話番号: 06-6459-6241

■土日祝日訓練の有無:

 全日あり / 一部あり / なし

■法定講習に係る補講:

 あり なし / 有料 無料

■相モデルによる訓練:

 あり なし

■合同開催による訓練:

 あり なし

| 訓練の種別 | 実践コース (02 IT分野) | | | 就職を想定する職業・職種 | |
|---|--|--|--|--|-----------|
| | <input checked="" type="checkbox"/> 職場復帰支援コース (※基礎コースのみ) | <input checked="" type="checkbox"/> 託児サービスコース | <input type="checkbox"/> 短時間訓練コース (月80時間以上100時間未満) | ・フロントエンドエンジニア ・Webエンジニア ・Webプログラマー ・システムエンジニア | |
| 訓練科名 | 初歩からはじめるWebアプリ開発科(託児) | | | | |
| 募集期間(予定) | 令和7年8月1日 ~ 令和7年8月21日 | | | | |
| 選考日(予定) | 令和7年8月29日 | | | | |
| 選考方法 | <input checked="" type="checkbox"/> 面接 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> 筆記試験 | <input type="checkbox"/> その他 () | |
| 選考結果通知日 | 令和7年9月5日 | | | | |
| 訓練期間 | 令和7年9月25日 ~ 令和8年3月24日 (6 か月) | | | (訓練日数 93 日) | |
| 訓練時間 | 10時10分 ~ 16時50分 | | | 訓練定員 | 20名 |
| 訓練対象者の条件 | パソコンで文字入力ができる | | | | |
| 訓練推奨者 (特定の者を想定する場合のみ) | <input type="checkbox"/> 新規学校卒業者 <input type="checkbox"/> 被災者 | <input type="checkbox"/> ニート等の若者 <input type="checkbox"/> 外国人 | <input type="checkbox"/> 障害者 <input type="checkbox"/> その他 () | <input type="checkbox"/> 母子家庭の母等 | |
| 訓練目標 (仕上がり像) | HTMLやCSS、JavaScript、TypeScript、React、Nextjsのプログラミング技法を身につけ、Webアプリケーションの企画・開発ができる人材の育成を目標とする。 | | | | |
| 訓練修了後に取得 できる資格 | 名称 (HTML5プロフェッショナル認定 レベル1) | 認定機関 (LPI-JAPAN オープンテクノロジー技術者認定機関) | <input checked="" type="checkbox"/> | 任意受験 | |
| | 名称 () | 認定機関 () | <input type="checkbox"/> | 任意受験 | |
| | 名称 () | 認定機関 () | <input type="checkbox"/> | 任意受験 | |
| | 名称 () | 認定機関 () | <input type="checkbox"/> | 任意受験 | |
| | 名称 () | 認定機関 () | <input type="checkbox"/> | 任意受験 | |
| ① IT分野の訓練における基本奨励金の特例措置(IT特例)の適用に係る希望の有無(適用を希望する場合のみ「○」を記入) | | | | | |
| ② WEBデザインの訓練における基本奨励金の特例措置(WEB特例)の適用に係る希望の有無(適用を希望する場合のみ「○」を記入) | | | | | |
| ③ DX推進スキル標準対応の訓練における基本奨励金の特例措置(DSS特例)の適用に係る希望の有無(適用を希望する場合のみ「○」を記入) | | | | | |
| 訓練概要 | Webの基礎知識を学び、JavaScriptやTypeScriptの習得と、それに伴う主流となっているReact及びNext.jsのプログラミング技術を身につける。【企業実習促進】[DSS対応] ※日によって訓練時間が異なります。 | | | | |
| 訓練内容 | 科目 | 科目の内容 | | | 訓練時間 |
| | 入校式・オリエンテーション | 入校式、訓練の概要説明(3H) | | | |
| | 修了式 | 修了式(3H) | | | |
| | 実習前オリエンテーション | 実習前オリエンテーション(1H) | | | |
| | 安全衛生 | VDT作業と安全衛生 | | | 1時間 |
| | Web基礎知識 | ●Webと仕事、Web関連サーバー知識、ネットワークの特性と用途、Webに関する著作権、個人情報保護 | | | 2時間 |
| | プログラミング基礎知識 | ●プログラミングに関する基礎知識、開発環境について、JavaScriptとは、プログラミング手法と仕様 | | | 3時間 |
| | Webアプリケーション基礎知識 | ●Webアプリケーションとは、Vue.jsについて、代表的なWebアプリケーション、SPA・PWAとは | | | 6時間 |
| | 就職支援 | ジョブ・カード作成支援、面接指導、応募書類の作成支援 | | | 18時間 |
| | コンピュータ基本操作実習 | PC起動・終了、マウス・キーボード操作、ソフトの起動・終了、データを開く・保存、ファイルとフォルダについて、簡単なトラブルシューティング | | | 1時間 |
| | 連携サービス利用実習 | ●連携サービス利用方法とアカウント作成(Google、GitHub、Firebase、Figma、Notion) | | | 23時間 |
| | HTML・CSS基礎実習 | ●HTML(基本的なタグ・高度なタグの使用) ●CSS(顔出すプロパティ、セレクタ、疑似要素、メディアクエリ、アニメーション) ●CSSフレームワークの特長 | | | 60時間 |
| | JavaScript基礎実習 | ●JavaScript(基本的な構文、記述箇所、ES5とES6、Node.js、演算子、変数と配列、メソッドとオブジェクト、条件分岐、繰り返し、関数、DOM操作) | | | 66時間 |
| | TypeScript基礎実習 | フロントエンド開発の変遷 ●TypeScriptの基本操作(型の定義、基本的な型の機能、実際の開発で重要な型)、テクニック、開発時設定 | | | 42時間 |
| React/Next.js基礎実習 | ●React/Next.jsの基礎、React Hooks、レンダリング手法について、ルーティング、Storybook、ユニットテスト | | | 78時間 | |
| Webアプリケーション制作演習 | ●既存の簡易Webアプリケーション制作、基本設計、詳細設計 | | | 24時間 | |
| Webアプリケーション企画実習 | ●Webアプリケーションの企画立案・制作、関連文書作成、制作準備、環境構築、要件定義 | | | 54時間 | |
| Webアプリケーション制作実習 | ●Webアプリケーションの制作、完成作品プレゼンテーション、評価 | | | 71時間 | |
| 企業実習 | <input type="checkbox"/> 実施しない | <input checked="" type="checkbox"/> | 実施する | | 60時間 |
| 職場見学、職場体験、職業人講話 | | | | | |
| 訓練時間総合計 | 509時間 | 学科 30時間 | 実技 419時間 | 企業実習 60時間 | 職場見学等 0時間 |
| 受講者の負担する費用 | 教科書代 | 9,240円 | | | 合計 9,240円 |
| | その他 () | | | | |
| | 備考 (企業実習にかかる交通費が別途発生 託児サービス内容の内、実費負担が別途発生) | | | | |
| 訓練形態(個別指導・補講を除く) | <input checked="" type="checkbox"/> 全ての受講者を一堂に集め、講師が直接指導する | | | | |
| | <input type="checkbox"/> オンラインによっても指導する(当該日通所可能・混在型) | <input type="checkbox"/> オンラインによっても指導する(当該日通所不可・単独型) | オンライン計 | 時間 | |
| 施設設備や教材等を有効に活用した効果的な指導のための工夫 | 市販のテキストに加え、講師が作成した補足資料を併用する事で重要ポイントをしっかりと押さえ、受講生への知識・技術の定着を図ります。また、学んだことを繰り返しの学習にしっかりと定着を図れるように設定課題を階段式にするなどの工夫をし、着実に技術の習得ができる指導を行います。 | | | | |
| 受講者ごとの特質及び習得状況に応じた指導のための工夫 | 学習進捗状況表の作成及び科目毎に試験課題を設定し、到達度を計ります。また、キャリアカウンセラー担当者からの情報も加味し、将来目標を確認しそれに対し不足する知識・技術を個別に把握。担当教員間で個別の強化プログラム(補足課題)の設定などで対応します。 | | | | |

